

大野城市民読書活動推進計画 施策進捗状況シート

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(6) 全世代共通			
施策の方向性	市民の読書意欲を高めるため、市と図書館が連携し、これまでの広報活動に加え、インターネット及びSNSを活用した情報発信に取り組み、市民の主体的な読書を支援していきます。			
主な取組	①読書活動の促進			
	②本の紹介			
	③情報発信の強化			
成果指標	市民の図書館の新規利用登録者数	策定時点	目標値(R9)	
		1,458人	1,800人	
D 令和4年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R4)	目標値(R5)
	レファレンスサービスの充実	データベース件数	101件	110件
	特集コーナーの充実	テーマ数	182	150
	ホームページやSNS等を活用した情報発信	年間発信回数	91回	85回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①読書活動の促進		達成状況	
	◆図書館のしらべものカウンター及び児童カウンターでレファレンスを受付している(レファレンス件数:7,967件※うち児童カウンターの件数:738件)。児童カウンターではなく、しらべものカウンターに尋ねにくる子どもが多かったため、今後は児童カウンターを積極的にPRしていく。 ◆図書館のホームページでレファレンスデータベースを公開している。 ◆図書館では、読書週間事業として「図書館へよう!!2022年秋」を実施した。児童文学作家の杉山亮氏を招き、ものがたりライブと講演会を行った(ものがたりライブ:参加者94名、講演会:参加者30名)。大人の集客が難しいため、今後は対象年齢に合わせた情報発信方法等を見直していく。		○	
	②本の紹介		達成状況	
	◆図書館の児童コーナーでは絵本の特集を季節ごとに1回、プチ展示を月2~3回、読み物・実用書を月1回、季節の詩の展示を月1回、ヤングアダルトコーナーでは月1回、また一般文学や実用など大人向けの資料特集、展示等も定期的に入替を行っている。特集コーナーは貸出にも繋がるため、今後もテーマを工夫しながら継続していく。 ◆図書館では、しらべものカウンターや児童カウンターにて各世代に対応したレファレンスを行っている。また、世代に合わせた情報誌を発行し、おはなし会やイベント情報のほか、おすすめの本を紹介している。		○	
◎期待以上 ○期待どおり △もう少し	③情報発信の強化		達成状況	
	◆図書館ホームページにおいてイベント等の告知や実施報告、情報誌のバックナンバーを見ることができるようになっている。今後は、ホームページはインターネットの即時性を活かした情報公開等をより早く、正確に行っていく。 ◆図書館ではおはなし会やイベント情報、おすすめ本の紹介等を掲載した情報誌を発行しており、一般利用者を対象とした「パララ」を年6回(1,500部/回)発行した。 ◆今後は、まどかぴあ情報誌や情報の森を活用した情報発信、市と図書館が連携した地域情報の発信、市広報を活用した読書推進事業等を実施していく。		○	

### C 評価

推進委員会  
評価

◆図書館では現在ホームページでの情報発信しか行えていないが、色々な人に見てもらえるよう、SNSなどでの情報発信等も考えていく。インスタグラムなどは、映像やコメントがついて、わかりやすい。また、#（ハッシュタグ）をつけることで関連情報も見ることができる。若い世代ではLINEよりも、インスタグラムやTikTokを使う人が多い。そういった手段を取り入れると、若い世代にも情報が届きやすいかもしれない。

検討が  
必要な事項

◆SNSでの情報発信の検討（実施主体：図書館）

### A 改善

改善に向け  
た取組等

◆図書館では公式インスタグラムを活用し、情報発信を行うとともに、周知にも力を入れていく。